

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年2月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2873002709		
法人名	有限会社 シニアケア		
事業所名	シニアケアサザン塚口		
所在地	兵庫県尼崎市南塚口町8丁目13-21 (電話) 06-6428-2948		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年12月24日	評価結果確定日	平成21年3月27日

【情報提供票より】 (20年12月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤7人, 非常勤14人, 常勤換算	14.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造ラスモルタル 造り		
	2階建ての1~2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	80,000 円	その他の経費(月額)	22,400 円	
敷金	有() 円 () 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() (300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有() / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,150 円			

(4) 利用者の概要 (12月5日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	0	要介護2	7		
要介護3	7	要介護4	0		
要介護5	3	要支援2	0		
年齢	平均 83.4 歳	最低	66 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	白壁クリニック 高田循環器内科クリニック、大塚整形外科、徳永歯科クリニック
---------	---------------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

阪急沿線の閑静な住宅街にあるグループホームである。日常の暮らしの中での地域との関わりを大切に、認知症を抱える家族支援のために、地域向けの勉強会を開催している。またご利用者と共に日々の買物や散歩等の機会を取り入れ、積極的に地域との交流に取り組んでいる。施設内の玄関・食堂・居間・廊下等、に自然光が差し込み、日当たも良く、暖かく安らぎのある共有空間である。室内の飾りや花が家庭的な雰囲気を感じさせ、ご利用者はテーブルを囲み楽しくくつろがれている。日々共に過ごす中で、職員は専門職としての意識の中にも、ご利用者・職員は「お互いが一人の人間」と捉え一人ひとりの尊厳を大切にしながら、助け合い支えあう関係を築けるよう努めている。利用者のペースに合わせ過ぎられているが、職員はご利用者の「できること・できそうなこと」を見極め、一人ひとりの楽しみごとや役割の支援を行ない生活能力を活かせるような場面作りを行っている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 職員は評価の意義やねらいを理解し、前回評価結果は職員間で回覧し確認していった。今後は会議等の中で評価結果を話し合う機会を持ち、ホームの質向上に活かしていくことを期待する。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 自己評価は職員の意見を聞きながら管理者とホーム長が主にまとめていった。今後は自己評価の項目一つひとつを職員全体で確認し、個々の職員のケアの振り返りや見直しとなるよう取り組んでいくことを期待する。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 会議は3カ月に1回開催している。参加者は家族会世話役・地域包括職員・老人福祉センター職員の他に町会長・保護司・民生委員等多方面からの参加がある。ホームの現状・行事について・第三者評価結果・非常災害時対応等報告し、参加メンバーから率直な意見や助言等をもらえるよう働きかけている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 家族来訪時は家族からも意見等を出しやすいよう配慮している。苦情・相談等あった場合は職員間で改善策について検討しサービスの質向上に活かしている。家族会があり、利用者家族が主体的に活動し、ホームとの話し合いも定期的で開催している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 地域の行事や近隣の大学祭への参加の機会がある。近隣にある老人福祉センターの職員もホームを理解し協力的で、センターでの催し等にホームからも参加している。管理者は、ホームが地域に根差していく為にはセンターとの連携が大切であるとの思いから今後も積極的な交流を考えている。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の基本理念に更に「地域で暮らし続ける事を支援していく」との思いが盛り込まれ、地域密着型サービスとしての役割を意識した理念となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は会議で取り上げ、職員との対話の中でも日々話しあい浸透を図っている。管理者は理念の実現を具体化させる為には、個々の職員の介護観を明確にし認知症への理解を深めていく必要があると感じており具体策を検討している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や近隣の大学祭への参加の機会がある。近隣にある老人福祉センターの職員もホームを理解し協力的で、センターでの催し等にホームからも参加している。管理者は、ホームが地域に根差していく為にはセンターとの連携が大切であるとの思いから今後も積極的な交流を考えている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果は職員間で回覧し確認していった。自己評価は職員の意見を聞きながら管理者とホーム長が中心にまとめていった。評価結果は運営推進会議にて報告している。</p>		<p>今後、評価結果は回覧だけでなく職員間で話し合う機会を持ち、ホームの質向上に活かしていくことを期待する。自己評価への取り組みは、項目一つひとつを職員全体で確認し、個々のケアの見直しとなるよう取り組んでいくことを期待する。</p>
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は3カ月に1回開催している。参加者は家族会世話役・地域包括職員・老人福祉センター職員の他に町会長・保護司・民生委員等多方面からの参加がある。ホームの現状・行事について、第三者評価結果・非常災害時対応等報告し、参加メンバーから率直な意見や助言等をもらえるよう働きかけている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日常ではホームの運営面で相談する機会がある。市内のグループホーム連絡会に市の担当者の参加があり情報提供やアドバイスを受けている。市から派遣された介護相談員が定期的に来訪し、利用者と事業者・市との橋渡し役として活動している。市との連携で認知症サポーター養成研修など認知症の啓発活動を行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族面会時や利用者の状態変化時等はその都度連絡している。また定期的には、利用者の健康状態や日々の様子を文書にし毎月家族に送付している。また、ホーム便りとして利用者の写真等を掲載し送っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来訪時は家族からも意見が出しやすいよう配慮している。苦情・相談等あった場合は職員間で改善策について検討しサービスの質向上に活かしている。家族会があり、利用者家族が主体的に活動し、ホームとの話し合いも定期的を開催している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者や家族への影響に配慮し異動はなるべく少なくなるよう取り組んでいるが、隣接する法人内グループホームとの連携を保つためにホーム間での異動はある。異動の状況についてはホームの新聞などで家族に知らせている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内において、認知症の分野で指導的立場にある方をスーパーバイザーとし研修を継続している。外部研修についても回覧等で情報提供し参加を勧めているが、研修計画にそった実施までには至っていない。		職員の力量や経験に応じた個々のスキルアップのために、研修計画の策定による円滑な研修受講が望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にグループホーム連絡会があり、定期的な交流を継続している。テーマを決め勉強会も実施し職員の積極的な参加を勧めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前の不安を軽減するために、ホームの見学や併設の通所介護の利用から始めていただく等配慮している。共用型の通所介護の指定を受けているため、入居に至るまでに利用できる体制も整っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は専門職としての意識の中にも、利用者も職員も「お互いが一人の人間」と捉えており、助け合い支えあう関係を築けるよう努めている。1日の流れの中で本人の得意なこと・好きなこと等を見極め、献立を考える・食事作り・買い物などの場面で職員が教えてもらったり学んだりする機会を作っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービス利用に至るまでに利用者の自宅を訪問し、本人のこれからの暮らし方への希望や思いを聞き、センター方式の一部の様式を活用し記録している。24時間シート等で本人の細かい情報を共有している。意思表示の困難な利用者については本人の表情・行動等にて思いを把握するよう心がけている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の協力も得て作成したアセスメントシートをもとにカンファレンスで検討し、計画作成担当者が中心になりプラン作成に至っている。		介護計画に対する家族からの意見・要望を把握するために様式等の工夫を検討しているが、介護計画作成後、家族の了解を得るための署名捺印の徹底が望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリング表の活用で利用者の状態変化を察知し、状況に応じた計画の見直し・変更を行っている。</p>		<p>利用者の状況の変化に応じて迅速な計画の見直しができているが、状態の安定した利用者についても定期的な見直しが望まれる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況に合わせて可能な限り対応して行くよう努めている。外出・行きつけの美容院への同行・かかりつけ医への受診支援等ご利用者・家族の希望に沿った支援を行なっている。また、共用型の通所介護を活用した支援を行なっている。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の内科・心療内科から月1回・歯科は週1回の往診を受けている。他の医療機関への受診も職員が対応している。</p>		<p>看護師が医師と話し合いを持ち、文書による指示受け・伝達・連携がより円滑に行えるような工夫が望まれる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化やターミナルケアについては重要事項説明書に明記し、ホームで「できること」「できないこと」を説明している。ご利用者・ご家族の状況を踏まえご家族と話し合っている</p>		<p>ケースバイケースであるが、その時々、ご家族・主治医とよく話し合いを持ち対応することが望まれる。また、ホームとして職員の意思統一が望まれる。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員はご利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮し、その人にあった言葉かけやさりげない介助を心掛けている。個人記録等は厳重に管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のペースに合わせて生活できるよう食事時間以外は自由に過ごされている。その日その時の体調や気分に合わせて柔軟な支援ができるよう人員配置に配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の嗜好を把握し、出来る限り好みの食事を楽しく食べることができるよう工夫している。ご利用者個々の力量に応じて食事の準備や後片付けなどは職員と共に行っている。職員は入居者と一緒に食事し、さりげなく見守り、食べこぼし等の支援を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は毎日3時以降にいつでも入れるようにしている。一人ひとりのプライバシーに配慮した個室で、入浴拒否のご利用者には無理せず、言葉掛けや対応について工夫した支援が行われている。チェックシートで入浴の管理をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者の「できること・できそうなこと」を見極め、一人ひとりの楽しみごとや役割の支援を行ない生活能力を活かせるような場面作りを行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>本人の希望や職員からの声かけにより、毎日の食材購入や近くの公園に出かけたり、時には空港の公園へ出かけ、五感刺激や気分転換になるよう支援している。ご利用者の中には、目的をもって毎日出かける方もおられる。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>立地条件的に門扉は危険防止のため施錠しているが玄関は夜間だけの施錠になっている。ご利用者が外出したい時には職員が付き添い、外出支援を行なっている。尼崎北警察に利用者の安全確保のために協力を依頼している。</p>		
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回隣接のグループホームと合同で避難訓練をしている。夜間想定のマニュアルを整備し災害時の対策に取り組んでいる。また、消防署からは、夜間など職員の少ない時の災害時対応について指導を受けている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一週を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分摂取量のチェック表を作成している。特に水分補給は時間を設定し勧めている。体調の変化に関しての気づきは職員連絡帳に記入し情報を共有している。</p>		<p>食事に関する会議を開催し、献立や調理について話し合い、カロリーについては栄養士と相談されることが望まれる。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内の玄関・食堂・居間・廊下等に自然光が差し込み、日当たも良く、暖かく安らぎのある共有空間である。室内の飾りや花が家庭的な雰囲気を感じさせ、ご利用者はテーブルを囲み楽しくつろがれている。また、気のあった人や、一人でゆっくり過ごせるように工夫されている。汚物の臭気がホーム内に残らないようにダストシユートを設置している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は畳の部屋と洋室があり、ご利用者の慣れ親しんだ家具類や装飾品が持ち込まれ、その人らしい雰囲気があり、落ち着いた自室になっている。</p>		

は、重点項目。